

令和5年度 第1回 就労プロジェクト会議 議事録

日 時	令和5年7月21日(木) 午後2時～午後4時
場 所	アミューあつぎ 610
出席者	<p>オリーブ トライフィールドわーくあーつ 鮎の風・鮎の風第2 デイサービスみどり Studio R のぞみ まんまん食堂 工房小野橋・わか しらゆり つばき作業所 サブカルビジネスセンター本厚木</p> <p>事務局 厚木市障がい福祉課 基幹相談支援センターゆいはあと いっぽ</p>

(1) 今年度の活動予定について

～出席者自己紹介

事務局より

- ・今年初の会議となるが、今年度については3回程度を予定している。昨年度についてはグループワークを行うなどして「横のつながり」を意識した活動を行ってきたが、今年度については工賃アップに成功した事業所の見学や、以前実施したアンケートで要望のあった企業見学や研修についても検討していきたいと考えている。今回の開催前に事務局で打ち合わせを行ったが、その中で、今までは「てとて」(厚木市障がい者就労施設共同受注窓口)との関わりで工房小野橋にご協力頂いていたが、みんなで進めていくという意味で今年度からは更に2～3事業所の方にも事務局に参画して頂き、皆さんのお力を借りながら会議の活性化を図る方向で調整させて頂いている。詳細は決まっていないが、その際には是非ご協力頂ければと考えている。

(2) 各事業所による作業紹介・意見交換

オリーブ

- ・筆記用具の組み立てをメインで行っている。開所して2か月という事もあり工賃については最低月額ギリギリの状態。伊勢原でシャープペンシル・平塚で多色ペンの組み立てを行っている会社があり、お世話になっている。多色ペンの組み立てについては全ての工程を1か月で完了させ納品する形で行っている。月額は6万円いけば良い方で報酬が特別良い訳では無いのだが、工作やプラモデル作りの経験がある男性には相性が良い作業だという印象を持っている。個数を数える訳でもないので、女性の方でもおしゃべりをしながら出来る作業になっている。他にはポスティングの仕事と電気の基盤を組み立てる仕事も行っている。現在の登録者は15名程度、良い仕事があればご紹介頂ければと考えている。

トライフィールドわーくあーつ

- ・施設内と施設外に分かれており、施設外の作業は福祉センターの共用部の清掃の仕事を厚木市から頂いている。次にクロネコヤマトからメール便とネコポスの仕事を頂いていたが来年度からクロネコヤマトと郵政が提携する事になり、契約終了となるので、新しい仕事を探している。施設内の作業は3カ所の会社さんとつながっており、一番大きいのは介護用エプロン畳みの仕事。洗濯を終え綺麗になったエプロンを事業所に取りに伺い、こちらで決められた順序で畳み、結束し、袋に詰めてその日のうちに納品しており1日の作業の半分を占めている。次に多いのは医療用・ICUで使用する部品の一部を検査する仕事になる。こちらも毎日会社さんへ取りに行き、その日の内に納品している。他にはバインダー中央部の組み立ても行っており、その日によって穴の数が増える作業となっている。お葬式のお返し用ギフトの箱折り等も行っていたが、コロナ禍の影響で葬儀や法事を身内のみで行ったり、やらない方が増えており、大幅に受注が減っている。平均工賃は2万5千円前後で最高は6万円。週1回のみ・半日からでも利用可能な為、最低の方だと月4千円程度になる。

事務局

- ・仕事を探す事について、どのような方法で取り組んでいるのか。きっかけを含め教えて頂ければ。

オリーブ

- ・ネットで「内職募集 厚木」「内職 組立」といったワードでひたすら検索をして探し、交渉したが、横のつながりでご紹介頂いた仕事や自分たちで開拓した仕事もある。

トライフィールドわーくあーつ

- ・こちらの母体は相州メンタルクリニックのデイケアであり、当時デイケアで行っていた作業を引き継ぐ形でわーくあーつが設立された経緯がある為、当時から大きくは変わっていない。福祉センターの掃除については障がい福祉課さんからお声掛け頂いたのがきっかけと記憶している。仕事を新たに探したというよりは以前からあるものを大切にしていた様

に感じている。

鮎の風・鮎の風第2

- ・鮎の風は2カ所に分かれている。鮎の風は上依知にあり、主に八王子方面から障がい者施設のタオル等の洗いや畳み・パックして配送するという流れで行っている。当所はクリーニングが専門の為理事長が営業に行き、学校や病院などから仕事をもらっている。売り上げはコロナ禍もあり一時減ったが、現在は月100万前後になっている。鮎の風第2はクリーニングの取り次ぎをメインで行っており、売り上げの8~9割はそれで賄っている。受付や取り次ぎ、検品や返却という一連の流れに沿って行っているが、売り上げを上げる為にポストイングやチラシ作りやピラ撒きも行っている。ポストイングを行っていた流れの中でのつながりで、何件かポストイングの仕事を頂いた事もある。後は自主制作品の販売で、小物や洋服・帯や着物を再加工した洋服やバッグの販売をネットも使いながら行っている。物販の売り上げはクリーニングよりも波があり月50万前後だが、今後は月80万平均を目標に取り組んでいる。

事務局

- ・第2の方には自主制作品が多くいつも驚かされているのだが、販売ルートにはどういった場所があるのか。

鮎の風・鮎の風第2

- ・アミューあつぎ「あつまる」と、レンブラントホテルとお付き合いさせて頂いている関係で、レンブラントホテルの1階フロントにもお土産用として置かせて頂いている。レンブラント御殿場ゴルフ場や知り合いの飲食店・海老名の文具店さん等にも営業し置かせて頂いている。何とか自力で開拓している・といったところ。

デイサービスみどり

- ・紙袋の取っ手付けを行っていたが、コロナ禍により仕事が大幅に減ってしまった。新しい仕事を探す為に折り込み広告の「内職募集」を見ていたところ、近所のクリーニング屋さんが募集をしていたので相談にいった結果、今日から新しい仕事を始める事が出来た。病院職員用ユニフォームのズボンだけになるが、午前中に取りに行き午前中に仕上げてすぐに届けるという内容で、今後は月水金で行う予定となっている。他には利用者さんのご家族がやっている会社から不定期に頂く仕事や電子部品のねじ止めの仕事、これは「あすなる第3」にご紹介頂いたものになる。ブラインドの部品の袋詰め、こちらは「紅梅園」からご紹介頂いた。後は鈴の組み立てもある。こちらもコロナ禍でお祭りや行事が激減した事から一時は大幅に減っていたが、最近また増えて来たと感じている。これは単発で月1回程度しかないのだが、中国から送られて来る小物にタグを取り付け各地のドン・キホーテに送る仕事も行っている。外作業については平成24年4月に厚木市斎場が出来、週4日程度そちらの売店の運営を行っている。こちらもコロナの影響でお葬式が激減した影響で厳しい時期もあったが、少しずつ回復して来た様に感じている。職員2名・利用者2名という体制で行っている。

事務局

- ・作業内容が多岐にわたっているが、作業に際して人選はどのように行なっているのか。

デイサービスみどり

- ・得手不得手を中心だが、仕事の依頼が来るタイミングに大きく左右されてしまう。

Studio R

- ・中の仕事としては主にフラワーアレンジメントを行っており、契約頂いているお客様に毎週納品・回収を行わせて頂いており、店頭販売用のフラワーアレンジメントも制作している。ドライフラワーの制作・販売と、最近ではキャンドル作りも始め店頭販売を行っているが、週1回土曜日には表に出て、それらの販売会を実施している。次に、紹介で頂いた仕事としてはチラシ作りが有り、デザインからチラシを三つ折りにする所まで行い納品しているが、過去にはポイントカードを作る仕事を頂いたこともあった。外で行う作業については「Yahoo オークション」に出品している不用品買取業者からの依頼で、清掃・撮影・出品の流れを倉庫で行う仕事と平塚市の倉庫で袋詰めやシール貼りを行う仕事がある。今後はキャンドル作りを含めた自主製品に力を入れたいと考えており、販路の拡大を目指して営業を始めているところ。現在の平均工賃は1万2千円前後になっており、この時期は体調不良で休まれる方も多いが、利用者の体調に合わせた仕事を提供できる様、今後も努力していきたいと考えている。

事務局

- ・Studio R さんと言えばフラワーアレンジメントの印象が強いが、過去と比べ作業の工程や要する時間・内容に変化はあるのか。また、Yahoo オークションの仕事はどういうきっかけで始める事になったのかについても教えて頂きたい

Studio R

- ・毎日同じ作業をしないという事为目标に、1つの工程を1日掛けて行う様取り組んでいる。アレンジメントの回収後には「ロスフラワー」を再度生け込むといった事にも取り組んでいる。Yahoo オークションの仕事については開所当時からつながりのあった方からの紹介で頂いた仕事と聞いている。最初は施設内で行っていたのだが、室内に砂や埃が落ちてしまい困っていた所に、新たに倉庫を作ったという話を頂いた事で現在の形になった。フラワーアレンジメントは目立つ所に配置している事も有り利用希望者や見学者からの要望は高いが、フラワーアレンジメントは実際には女性が多い作業となっている為、男性にも出来る作業を・という事でオークションの仕事を始めたとの経緯がある。今後更に仕事を増やしていきたいと考えている。

のぞみ

- ・当所ではPCを使った業務が中心で、クライアントからの依頼で営業メールの送信業務や企業の検索、Amazon の画像編集やデザイン系の仕事を主に行っている。発送代行について

ては商品をお預かりして梱包・バーコードの貼付・発送という工程で行っている。仕事の開拓についてはどの事業所さんも沢山の仕事を用意されている様で焦りを感じているが、クラウドワークスで探したり、当事業所宛てに届いた依頼を元に相談させて頂き仕事に結びついたものもある。平均工賃は休みの方が多く、月1万円程度となっている。

事務局

- ・利用者さんについては、以前パソコンの仕事をしていた方が多いのか。

のぞみ

- ・多い傾向にあるが「パソコンを学びたい」「デザインを学びたい」「youtubeに動画を上げたい」というパソコン初心者の方も多。登録者が増えてきた中での対応については今後検討していく。

事務局

- ・仕事の依頼がメールで来るとの事だが、一般企業と個人ではどちらが多いのか。

のぞみ

- ・個人でAmazonの商品を扱っている方からの依頼が多い。荷物をこちらで預かる関係で荷物を置くスペースが必要になるので、小さな荷物であれば可能と返答させて頂いている。

工房小野橋

- ・自主製品と下請けの仕事を行っている。下請けについては主に電子部品の組み立てとドラム缶の蓋の部分を拭く作業を行っている。身体障がいの方が多く利用されているので、電子部品の組み立ては机の上に置いて片手でできる作業になっており、単価は安い作業内容としては助かっている。ドラム缶の部品についてはフラフープの様な形になっている物を拭いてレバーを付ける作業になっている。近所の会社からネットを経由して依頼があった。後は洗濯されたウエスを畳む仕事や解体作業を行っている。自主製品については、販路拡大を目指して活動されている事業所さんが多い中ではあるが、販売を辞めようかと考えている。販売に行く手間と実際の売り上げ金が「割に合わない」状態になっており、製品に魅力が乏しい事も一因だとは思っているのだが、今後は受注だけでやっていく事を考えている。受注だけで年間160万円程度頂いているので、引き続きやっていく予定。共同受注窓口「てとて」については、何件か加入して頂いている所もある。よく問い合わせを頂くのが「荷物を預かって・写真を撮って・代わりに配送する」という仕事で一時期はひっきりなしに依頼が来ていたが、預かる場所が無いという理由でマッチングが上手くいかなかった。置き場所の問題だけではなく、作業内容が煩雑な事も影響しているのではないかと感じている。コロナ禍もあり大きな仕事では無いが、ポスティングや工場からの依頼はあったものの、送迎や付き添い・昼食の手配・拘束時間等を考慮すると「見合わない」内容の為、こちらの力不足もあり上手く結びつける事がなかなか難しかった。最後に脱線してしまう様だが「のぞみ」や「サブカルビジネスセンター本厚木」などパソコンを使っている事業所が増えて来ているので、市内では少ない動画編集や名刺作りに挑

戦されると良いのではと感じている。ドローンを使った撮影等にも興味は有り、やりたいとは思いますが能力が無い。最後は「人間の手」が必要な仕事は多いが、パソコンを使った事業所の動画や PR など出来れば面白いのではないかと。他の事業所がやっていない仕事について共同受注窓口にも PR 頂ければと考えている。

事務局

- ・前回のグループワークでもパソコンや SNS を使った仕事の受注や PR について意見が上がっていた。厚木市の観光 PR など youtube 動画を活用する場面もあるのではないかと思う。新しい仕事を探している事業所もあるかと思われるので、事業所間で情報や作業を共有する事を模索する意味でもこういった場の必要性を感じている。

しらゆり

- ・受注作業は主に 4 つあるがその内 3 つは「デイスサービスみどり」と完全に同じ作業になっており、受注の厳しさも同じ状況である。他には電子部品の組み立てやカバーの裏側に規格シールを貼るといった仕事も行っており、「枠の中に」「埃がつかないように」行うシビアな作業ではあるが、得意にしている利用者さんがいる為、何とか行えている。外での仕事は近くの施設やグループホームでの清掃作業であり金額を含めた契約内容は様々。売り上げの多い仕事は電子部品の組み立てと鈴の組み立てで、同じ位の額になっている。平均工賃は 1 万円前後になっている。受注作業は浮き沈みが激しい仕事の為、別の仕事もネットで探しているが受取・納品に関する人手の確保が厳しい。こういった場を活用して人手を出し合い、利用者の送迎や受取・納品等が出来れば良いのではないかと考えている。送迎ありきの利用になっている現実と利用促進策を兼ねて、厚木市が主体でコミュニティーバスによる送迎等を行って頂ければ有り難いと感じている。

つばき作業所

- ・自主製品作りと受注作業を行っており売上が一番多いのは自主製品のパン作りになる。生地から作っており事業所内で焼いた物をお届けする形で行っている。1 日平均 100 個で月の売り上げが 30 万円前後になるのだが、原価の上昇が続いており利益は減少している。価格に転嫁する事が難しい為、検討を重ねて日持ちのする「どら焼き」を作り始めた。手作りの粒あんを使っており、市内の和菓子屋さんや餡子屋さんから職員が教わった。一つ一つの大きさを揃える事が難しいので型枠を探したが何処にも売っていない。現時点でも 1 日 50 個程度は作る事が可能であり、将来的には作りの良い箱を用意し贈答用として販売出来ればと考えている。現在のパン作りは当日の夕方から翌朝にかけて食べて頂く事を想定しており、作業として利用者さんに参加して頂く為には賞味期限をこのように設定せざるを得ない。一方でどら焼きは日持ちするので販売しやすいというメリットがある為、試行錯誤しながら取り組んでいる。後は畑を借りて季節の野菜作りと無人販売も行っている。時々売上金が合わない日も有るがそこは諦めており、月に 1~2 万程度の売り上げになっている。以前は色々な受注作業を頂いていたが、ここ数年で仕事が減っている。アラミド繊維の分別の仕事を受けているが単価の問題で数をこなす必要があるので、実習生の作業訓練として使用したり他の事業所さんと共同でやらせて頂いている。今後は自主

製品に力を入れつつ工賃のアップも目指していきたい。月平均工賃は7～8000円前後になっており、精神障がいの方はどうしても利用日数が増えない傾向にあるが、引き続き対応しつつ、少しでも利用者さんに還元できる様取り組んでいきたい。

事務局

- ・パンは毎日売り切る様に調整しているのか。独楽についても教えて頂きたい。

つばき作業所

- ・注文を受けて作っており、ロスを減らすという意図もある。日によって注文量が大きく変わる為、200個といった注文が入れば職員が早出で対応する事も有る。今後はどら焼きについても注文制を考えており、焼印なども工夫したいと思っている。独楽については組み紐作りを作業として行っており、大山の商店に直接卸しているが独楽自体は作っていない。

サブカルビジネスセンター本厚木

- ・サブカルチャーをメインに取り扱っており、パソコン作業が中心。Youtubeの動画編集や動画の合間に流れるマンガ広告の作成・ネット上の目的地までの道順や経路の作成などを行っている。今後は職員がドローンの資格を取得し、作品の幅を拡げていきたいと考えている。利用者さんはそもそも美大出身者や元漫画家、プロ仕様の作成・編集を行える機材を持っている方や現在 youtuber をやっている方など、こちらのスタッフより専門的な方も在籍している。名刺やパンフレットのデザインについては利用者さんがデジタルで作成したオリジナルのデザインを基に、必要に応じてクリエイターが彩色等を指導する形になっている。著作権の問題は厳しいが、そこをクリア出来れば「マンガ」や「アイドル」を作り自社で販売する形を目指している。ネット経由で行うため販路は特に無いが知り合いや社長のつながりを通じて進めていく予定。今後大型のプリンターや各種機材が揃えば名刺やチラシ作りも含めて受注・発信していきたいと考えている。現在の登録者は40人位だが「クリエイター気質」と呼べばよいのか全く音信不通の方が10名程度を占めている。週に1回来れるかどうか・という方も多く平均工賃は1万円以下となっている。障がい種別で言えば精神の方が一番多く知的障がいの方も多し。「好きな絵を描いて仕事にしたい」「声優になりたい」と考える方が多く、そのクオリティに達する事は難しいとは思いますがスタッフには経験者もいる為、一定の指導を行う事は可能。後は動画で流れているBGMの作曲にも挑戦しており、全体として決まった時間内で、動画内容に合わせたタイミングで音を合わせていく作業も行っている。

事務局

- ・在宅で作業を行っている方もいるのか。

サブカルビジネスセンター本厚木

- ・事業所に置いてある機材よりも自宅の機材の方が高スペックという方が多い為、在宅の方は多い。逆にそういった方の作品を披露して頂き、学ばせていただいたりもしている。高

スペックな機材を導入して欲しいという声はあるが費用がとても高額な為難しい。コロナが5類になった事で、今後在宅は難しくなるのではないかと感じており、様子を見ながら考えていきたい。

のぞみ

- ・同じく在宅の方は多い。こちらで貸し出すパソコンよりも高スペックの物を所持されている方が多く、在宅作業の方が効率的となる為、結果として在宅の方が半分を占めている。

まんまん食堂

- ・施設内の作業としては、法人の運営するグループホームの消耗品や食材の購入や準備と補充をメインに行っている。次に肉まん・餃子・焼きそば・炒飯の調理・販売を行っているが、コロナ禍の影響で販売が行えなくなってしまった為、ビニールハウスを建てて水耕栽培を去年から始めている。今の所思う様にはいかず、収穫量にムラがある為、工賃に反映出来ていない。昨年の平均工賃は1万6千円程度で、水耕栽培が軌道に乗れば上乗せ出来るのではないかと考えている。施設外の仕事では知人の紹介で大磯ロングビーチにあるロティ販売のキッチンカーで下準備の仕事を頂いている。

事務局

- ・水耕栽培の内容について教えて頂きたい。肉まんはどこで販売しているのか。

まんまん食堂

- ・レタスを中心に葉物類を栽培しており、難易度が低く栽培し易いと言われているのだがそれでも上手くいかない。12月末は栽培し過ぎて売り先が無くなった為、半分位処分する事になってしまった。4月からは店頭で置かせて頂いたり、無人販売も含めて販売を行っている。納入時間を早朝に指定されているので準備を含めた職員の負担は大きいと感じている。この時期のビニールハウスの中はサウナ状態の為、更に辛い。肉まんについては現在販売しておらず、食堂で販売している。以前はトレリスの3階や相模原の森田病院の薬局前で販売させて頂いていた事もある。今後は売店を出店する事も考えているがマンパワーの問題も有り検討中。「あんまん」も以前は作っていたが工程が違うのか上手くいかなかった。

事務局

- ・事業所毎の特徴や経緯、作業内容を聞かせて頂き大変参考になったが、他の事業所へのご質問等があれば。

Studio R

- ・サブカルビジネスセンター本厚木さんでは、クリエイターの方がスタッフとして在籍されているとの事だが、在籍される事になった経緯などを教えて頂ければ。

サブカルビジネスセンター本厚木

- ・インディードでクリエイターを募集し採用して来た経緯がある。これは体験談になるが、クリエイター色が強すぎる方を採用すると、思いの強さから利用者さんとトラブルになる事がとても多い為、福祉への理解や人柄を重視した採用が必要と考えている。

Studio R

- ・クリエイターが在籍しておらず、利用者さんのセンスだけで行っている状態が続いている為スキルアップが必要と感じているが、クリエイターについては技術だけではなく人柄も重視する必要があるという事が理解出来た。フラワーアレンジメントについてはクリエイターが在籍しており指導頂きながら作業を進めているが、それ以外の部分についてもクオリティを高めていきたいと考えている。

まんまん食堂

- ・サブカルビジネスセンター本厚木さんに事業所のパンフレットやホームページ作成を依頼させて頂く事は可能か。ホームページの更新も担当者の都合による為、更新が非常に遅い状態が続いており改善したいと考えている。

サブカルビジネスセンター本厚木

- ・可能だが打ち合わせが必要な為、期日は長めにいただいている。デザインや細部のこだわりについて確認しながら進め、イメージを擦り合わせていく。キャラクターのデザインも可能と考えている。

工房小野橋・わっか

- ・のぞみやサブカルビジネスセンター本厚木では、パソコン関連業務について価格表はあるのか。「キャラクター1体何円」「動画1本何円」等分かり易い物があると頼みやすい。制作が終わった後で金額を言われると断り辛くなるのではないか。相場が分からない事もあり判断が難しい。

サブカルビジネスセンター本厚木

- ・外部に向けた発信を行っていない事もあり現時点では作成していないが、価格表の必要性は理解出来たので、チラシを作成し価格も掲載出来る様検討させて頂く。クリエイターと利用者で協力しながら、安価な値段でそういったサービスを提供できる様になれば良いと考えている。サブカルビジネスという特性上在宅勤務の必要性を感じており、コロナ後の在宅勤務がどのように判断されるのかを注視している。

事務局

- ・一部コロナの特例が無くなっているが、現時点でも継続している物もある。将来的に廃止される物が多くなる可能性は高いが現時点ではっきりとした事は申し上げられない。恐らくコロナ前の形に戻っていく可能性が高いと考えている。

工房小野橋・わっか

- ・一般企業でもテレワークとして定着した部分が有り、業務の特性によっては在宅勤務についても柔軟に判断して頂ける様、行政からも県に働きかけて頂けると有り難い。

事務局

- ・先程の話の中でも他の事業所さんから仕事を紹介して頂いた・という内容が聞かれたが、会議終了後にでも是非皆さん名刺交換等やりとりをして頂き、横のつながりを作って頂けたらと考えている。

(3) その他 <資料参照>

事務局

- ・事前をお願いしたアンケートの結果について添付させて頂いた。これは個人的な話になるが先日の支援で「若年性認知症」の方と関わる事が有り、関係機関に問い合わせを行ったが、会社を退職された後の活動先が就 B か就 A に限られてしまっている現状がある。海老名市の「ぼむ」に問い合わせを行っても、過去に1件しか支援を行った事が無いという事だった。その方は運よく継続雇用という形で以前の職場に勤める事が出来たが、新たに就職するという事が非常に困難な状況にある。各県には「地域障がい者職業センター」があり、神奈川県では相模原市に設置されている。そこにも問い合わせを行ったが、やはり相談件数は少なく、実際の支援は0件ということだった。全国についても調べたが、ある年では22件あり、内訳は男性が96%で平均年齢は52才・その中での就職率は22名中6名だった。内訳は再就職が5名で雇用継続が1名。数字からも一般企業へ就職するのはかなり厳しい状況であると感じている。こちらで支援を行った方については結局座間市にある就 B と高齢・認知症の方が一緒に活動する事業所でパンを作ったり畑で野菜を収穫したりする作業を行っているが若年性認知症の方が活動できる場所は圧倒的に少ないと感じている。厚木には「みどりの丘」というデイサービスの事業所があるのだが、コロナの影響で活動を休止している。ご本人の活動できる場所を確保し、家族の負担を減らすという意味でも、そういった方への支援をお願いしたいと考えている。介護保険を利用し介護サービスにつながる方が多いと思われるが、精神保健福祉手帳を取得された方もおり、介護と福祉・どちらのサービスを利用するのかという事についても厚木市として検討して頂きたい。最後のページに、昨年度に行ったグループワークのまとめを資料として添付しておりご参照頂ければ。SNS の活用や PC スキルの必要性を感じるが、そういったスキルの勉強会なども面白いのではないかと感じている。SDGs 関連でも、福祉関連に興味を持たれた会社さんがあったという内容も見られたが、具体的に仕事をもらえそうな話に発展しそうな印象はあったのか。

つばき作業所

- ・パートナーシップミーティングについては参加者が多く8グループ程度に分かれた中で前後半交流を持たせて頂いた。その時は具体的なやり取りに発展しなかったが、興味を持たれた会社さんはかなり多い印象を受けた。あるパチンコ業界の方はSDGsとの関わりを考える為にも福祉とつながりを持ちたいと希望されていた為、イベント等のアイデアを出し合った。

事務局

- ・最後に簡単なアンケートになるが厚木市で取り組んでいる農福連携事業についての内容になる。農家さんは農作業の担い手を必要としており、そこに福祉事業所をマッチングさせる試みを行っており実際の案件も有る。一例としては、農家さんが朝収穫したものを事業所で計量・袋詰めし、一袋何円という形で納品する方法がある。農業政策課で補助金を付けて農家側の負担を少なくしつつ福祉事業所に還元できる様な内容を目指しているが、事業所からの興味等ご意見を伺いたい。

つばき作業所

- ・納品を肩代わりしてくれる、あるいは近所の農家さんであれば検討したい。

事務局

- ・農家さんによって作物や出荷方法が異なる上、時期によっては環境にも変化が生じるが、今の時期はタマネギ・ニンジン・ジャガイモの袋詰めが中心になっており、作業として興味を持たれた事業所があれば、持ち帰りご検討頂ければ。具体的でなくとも話を聞いてみたいといった相談でも構わないと考えている。

オリーブ

- ・今月農場さんからお誘い頂きレクリエーションとしてジャガイモ掘りをさせて頂いた。作業として見れば収益性や人員配置等色々と考えてしまうが、作業にはならなくてもこちらとしてレクリエーションと捉えている事が農家さんにとってのメリットになれば良いと感じた。今回は農業体験費として300円お支払し、1kgお土産として頂いた。農家さんと独自につながる事は難しいので、収穫時期に旬の野菜の収穫のお手伝いを兼ねたレクリエーションをさせて頂く橋渡しを厚木市にお願いできればと考えている。

事務局

- ・生活介護事業所との農福連携では、新しい作業という事で利用者さんも楽しんで取り組まれたという話を聞いており、引き続き取り組んで行きたい。工賃として還元出来る事で利用者さんも達成感を得られる為、Win-Winの関係になれば一番良いと考えている。

オリーブ

- ・作業という形式にこだわってはおらず、支払いをしてでも定期的なレクリエーション

として農家さんにつながりたいと考えており、工賃の発生しない農業体験という形での農福連携についてもご検討頂きたい。

工房小野橋・わっか

- ・農家さんが作業費を払わなければ補助金は出ない仕組みになっているのか。

事務局

- ・農家さんに厚木市が補助金を支払っている事もあり、農家さんが事業所に作業費を支払う事が前提。事業所への支払額の75%を市が補助する仕組みになっている。作業内容は契約によるが、個数単位以外に「日当」という形もある。しかし個人の能力差が大きい場合、同じ日当で作業内容や成果が大きく異なる可能性も有る為、そういったケースを想定し、擦り合わせて現在の形となっている。農業政策課でも協力頂ける農家さんを探すのが大変と聞いている。また今以上に農協とも連動してくれば幅が広がるのではないかと感じている。

閉 会

事務局

- ・皆様お疲れ様でした。就労支援は障がい者の方が地域で生活する為の大切な要素になると感じている。丁度今第7期の障がい者福祉計画の検討を行っており、施策の方向性として「多様な就労支援」がある中で、柱の一つとして工賃アップが存在している。厚木市にはB型の事業所が23か所あり、他市と比べて非常に多く、支援学校卒業後の進路の3割程度を占めている。25%位の方が生活介護を利用しているが、これは特殊な結果であり他市ではB型と生活介護の利用比率が逆転している。既存の内職作業を中心にしたものから新しいサブカルチャーやインターネットを活用したものまで幅広い仕事がある上「てとて」の様な共同受注窓口もあり、そこを通じた販路の拡大も可能になっている。そこが厚木市の強みになっているのではないかと感じている為今後もこのネットワークを活かした各事業所の取り組みが増えていけば良いのではないかと考えている。

以上。